

# 国民の皆様の声・集計報告票

平成26年3月受付分

照会先

総務部総務課03-5903-6183

	来訪	電話	手紙・FAX	メール	合計
把握方法別件数	11	14	0	52	77

	提案・意見	質問・照会	その他	合計
内容分類	2	54	21	77

## (主な国民の皆様の声)

番号	内容	対応	
		分類	概要
1	『ユースフル労働統計』に生涯賃金があると聞いたが、考え方を教えてほしい。過去の賃金実績は今の物価水準に換算して得るのか。		『ユースフル労働統計』の生涯賃金は、新規学卒として就職してから一般的な定年年齢である60歳までフルタイムで働き続けた場合と、そのうち、転職をせず同一企業に勤め続けた場合について、稼得する賃金の総額を推計したものであること、賃金水準を現在に合わせるという考え方に立って求めたものであり、物価変動率で過去の賃金実績を現在の物価水準に換算して求めたものではないことをご説明しました。
2	うつ病(精神疾患)と労災認定に関する資料(うつ病の発生件数、業務認定件数、諸外国のうつ病の発生件数、労災認定の制度等)について教えてほしい。また、2011年11月4日の朝日新聞に掲載されているJILPTのメンタルヘルスの調査結果について教えてほしい。		厚生労働省「精神障害の労災認定の基準に関する専門検討会」の資料や厚生労働省「平成24年 労働者健康状況調査」を紹介し、厚生労働省のホームページにある掲載場所をご案内しました。また、新聞掲載のメンタルヘルスの調査結果は、調査シリーズNo.100「職場におけるメンタルヘルス対策に関する調査」であることを説明し、報告書が掲載されている当機構のホームページをご案内しました。
3	産業別就業者数の将来推計をJILPTが行っていると聞いたが、どのように計算するのか。		JILPTホームページにある「平成25年度労働力需給の推計」(2月プレスリリース)に、推計の概要や最新の結果、問い合わせ方法が載っていることをご案内しました。
4	最低賃金に関する国への要望書が県議会から出される予定があり、日本の最賃が諸外国と比較して低いという内容の記載事項がある。その事実が正しいのか確認したいが、どの資料をみればよいか。		データブック第5-18及び5-19表を参照されるようにお返事するとともに、最賃とディーセントワークに関する内容も質問に含まれていると判断し、ILO報告書と駐日事務所をご紹介。
5	データブック「第5-6表 労働費用」の日本の費目構成(人件費に含まれるもの)について確認したい。		データブック「第5-8表 労働費用費目別構成」を例に挙げ、他の国との違いについて説明。

分類については、事実や制度を説明、改善策を実施済み・実施予定、改善策を検討中、皆様の声の内容を組織で共有、その他、に分類